



# 秋田県立稲川支援学校 教育プラン

令和5年度～令和9年度

## I 学校の現状と課題 ・ 学校を取り巻く将来の状況の予測

**1 地域と学校** 学校の所在地である湯沢市稲川地区は、果樹、漆工芸、うどん製造等の地場産業が伝統的に引き継がれており、これらは本校の教育活動を支える貴重な地域資源にもなっている。令和4年度から特色ある教育活動の一つとして、三学部共通のテーマで取り組む三つの一なプロジェクトを教育課程に位置付けるなど、地域に根付いた教育活動を展開している。

**2 児童生徒、教育課程** 出身地は主に湯沢市、羽後町、東成瀬村であり、福祉圏域も概ね同様である。小・中学部の児童生徒数はほぼ横ばい傾向にあるが、中学校（特別支援学級、通常学級）卒業後の進路先として本校高等部を選択する生徒が増加傾向にある。知的障害を主とするが、肢体不自由や視覚障害、発達障害等を併せ有する児童生徒、医療的ケアを必要とする児童生徒、不登校傾向の生徒も在籍している。これらの状況から今後は、社会の変化に柔軟に対応しながら地域社会の中で主体的に生きていく力の育成を目指した教育課程の編成、三学部一貫性のある教育活動の実践・評価・改善による確かな学びの蓄積、ICTの効果的な活用、児童生徒一人一人の課題に応じた自立活動を適切に指導するための外部専門家とのより一層の連携等が予測される。

**3 交流及び共同学習** 稲川地区に4校あった小学校が令和4年度から1校に統合されたことで、障害理解のための出前授業と相互理解がこれまで以上に重要になってきた。また、中学校との居住地校交流や中学校、高等学校との学校間交流の機会が減少している。小学校との交流及び共同学習が中学校でも継続できるように、オンラインの効果的な活用等が期待される。（令和4年度、小学部においてオンラインによる学校間交流を実施。）

**4 職業教育** 主に高等部において地場産業との連携や、作業学習での外部講師の積極的な活用を図ってきた。一方で、中学部段階の職業教育が課題とされ、令和4年度は高等部と接続した学習活動（作業学習と校内実習の見学・体験、アンテナショップ運営等）に取り組んだ。中学部段階においても本物の見学・体験に基づく実践的な職業教育がこれまで以上に求められる。

**5 進路指導、生涯学習** 各事業所等の障害者雇用に対する意識の向上や関係機関との連携強化等により、一般就労希望者が希望する職種に就ける機会が増加し、職場定着にもつながっている。また、今後は生涯学習への参加のニーズが高まることが考えられるため、在学中からの障害福祉サービス事業所等との一層の連携が必要である。

## II 目指す方向性 ・ 学校像や児童生徒の姿

### 1 学校像

- (1) 安心して過ごせる安全な学校
- (2) 児童生徒一人一人の力を伸ばす学校
- (3) 地域から信頼され、地域と共に育ち、共に学ぶ学校

### 2 児童生徒像

校是「健康 勤労 親和」

- (1) 明るい子 礼儀正しく、元気に挨拶ができる児童生徒
- (2) 元気な子 健康で、安全な生活ができる児童生徒
- (3) がんばる子 進んで取り組み、最後までやり抜く児童生徒

## Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

## 1. 社会に開かれた教育課程の実現と特色ある教育活動の展開

- 全校児童生徒による「いーなプロジェクト」の推進と、地域の伝統行事やイベント等への参加
- 特定教科等講師等、外部講師の活用による授業内容の充実と地域学習の推進
- 自立活動指導支援員の活用による授業内容や自立活動の指導の改善・充実、自立活動に関する職員研修の充実
- ICT活用に係る職員研修会の実施と環境の整備
- ICTの効果的な活用による学習活動の充実(5年間で全教員の95%)【柱Ⅱ 基本方向1 重点施策(3)】
- 計画的な地域の小・中学校、高等学校との交流及び共同学習の推進
- 小・中学部における居住地校交流の実施(実施児童生徒の割合30%以上の維持)【柱Ⅱ 基本方向1 重点施策(4)】

## 2. 専門性の向上と授業改善

- 研究テーマに基づいた日々の授業実践と評価・改善
- 各学部を対象とした全校授業研究会の実施(年3回)
- 日々研の活用による職員全体の指導力の向上(授業づくりの基礎・基本の徹底、教科指導力の向上、他学部の授業理解等)

## 3. 将来を見据えたキャリア教育の充実と生涯学習の推進

- 本校キャリア教育の指針「いーなプラン」に基づいた個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と、授業への活用・評価・改善
- 実践的な職業教育の推進～中学部段階からの職業教育の推進、中学部と高等部の連携による職業教育の充実(作業学習、職業・家庭)
- ハローワークや商工会議所、地域振興局等と連携した新規実習先及び職域の開拓
- 実習を通じた生徒と企業とのマッチングと、就労希望者の就職率100%の達成【柱Ⅱ 基本方向2 重点施策(2)】
- 地域の教育施設等のセカンドスクールの利用の推進

## 4. 安心・安全な生活を支える生徒指導・防災教育と医療的ケアの充実

- 「イーナチュラルタイム」(高等部 心の健康相談)の計画的な実施による組織的で予防的な生徒指導の充実
- 自転車や路線バス利用による登下校時の事故防止や緊急時対応に関する安全教育の計画的な実施
- 学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直しと実施・評価・改善
- 様々な状況を想定した避難訓練の実施及び事前・事後学習の工夫、保護者と連携した避難訓練(引き渡し訓練、メール配信等)の実施と評価・改善
- 関係者の共通理解に基づいた安全で確実な医療的ケアと緊急時対応訓練の実施

## 5. 学校の専門性を生かすセンター的機能の強化

- 居住地校交流及び学校間交流とセットで行う障害理解のための出前授業による理解推進
- 地域の幼稚園、保育所、認定こども園等、小・中学校、高等学校の支援体制の機能強化
- 関係機関との連携と支援体制の促進

## 6. ニーズに応じた学校施設等の整備・充実

- 老朽校舎の改築基本構想(素案)の検討の継続【柱Ⅱ 基本方向5 重点施策(1)】